記者発表（資料配布）				
月/日 (曜)	担当課室 (室)	電　話	発表者名 (担当者名)	その他の 資料配布先
R8.10/23 (金)	土木部道路保全課	078(362)3524 内線 75178	課長　多田孔充 (保全班主幹　芝本芳生)	－

橋梁耐震補強のために設置した鋼製受け台工事の粗雑施工について

令和５年度に「県道平野三木線窟屋（いわや）大橋橋梁耐震補強工事」にて鋼製受け台の粗雑施工が発覚したことを受けて、同様の工事を実施した全橋梁 160 橋を詳細に点検・調査したところ、窟屋大橋での事例と同様に、鋼製受け台の一部で穴を埋戻した跡を確認しました。

このため、必要な耐震性能が確保されない※と判断した橋梁の耐震補強工事の施工業者 9 社に対し、修補請求を行うとともに、処分を行います。

なお、これらの橋梁については、通常の通行に支障はありません。

※ 想定最大規模の地震時(レベルⅡ相当：発生確率は低いが、設置地点で想定される設計上の最高レベルの地震動)において、落橋の恐れはないが、一部鋼製受け台が壊れた場合、路面に大きな段差が生じる可能性がある

１　修補請求を行う橋梁

	所在地	路線名	橋梁名	施工業者
１	芦屋市浜風町	（一）芦屋鳴尾浜線	夙川橋	大喜建設(株)
２	姫路市広畑区西浜	（国）２５０号	汐見橋	(株)上野組
３	姫路市広畑区西浜	（国）２５０号	汐見橋	(株)森長組
４	姫路市白浜町宇佐崎北	（一）国分寺白浜線	宇佐崎陸橋１	栄伸工業(株)
５	相生市山手２丁目	（一）たつの相生線	大塚橋高架橋	(株)西田組
６	養父市大屋町須西	（主）養父宍粟線	南西橋	(株)但馬近畿工業
７	養父市大藪	（主）宮津養父線	千石橋	(株)本城根組
８	淡路市郡家	（主）志筑郡家線	新町橋	(株)マルイチ
９	淡路市郡家	（主）福良江井岩屋線	新郡家橋	光洋建設(株)

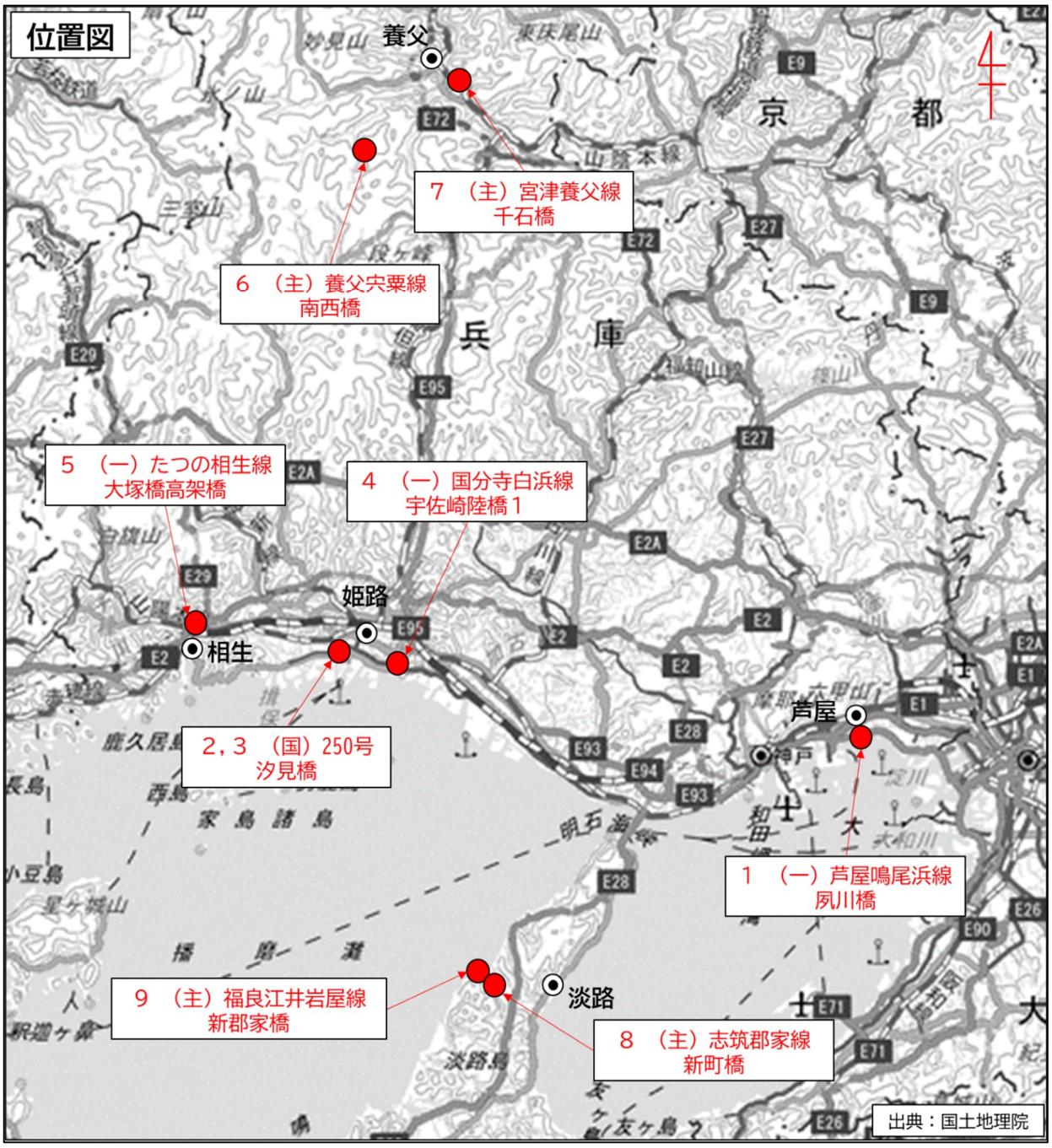
２　発生原因について

① 現地調査後における図面作成時の不注意（アンカー位置の計測精度不良、計測箇所の転記ミス）
② 元請業者の不十分な施工管理、発注者の確認する仕組みが不足
③ 穴を開け直すことに対する誤った認識（強度上問題無いとの安易な考え）
④ 設置不可となった段階での発注者・元請業者への報告漏れ

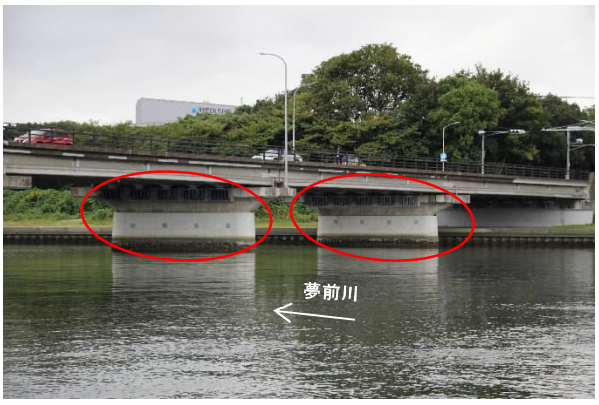
３　再発防止策について

① 元請会社による品質管理の強化（アンカー位置の記録の徹底、受け台設置状況の全数確認および全数写真管理）
② 発注者による段階確認の追加（受け台設置状況）
③ 施工時における受発注者間協議の徹底（穴の開け直しが強度低下を招くという認識の共有、現地との差異が生じた時点で必ず発注者へ協議）
④ 新技術による施工管理精度の向上を検討

【参考】



【写真】



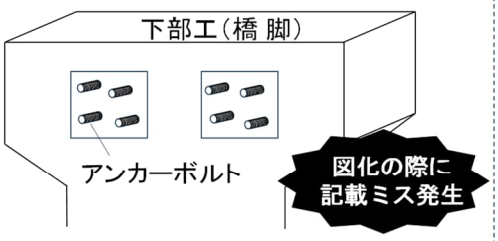


【（国）250号 汐見橋】

粗雑施工の概要イメージ図

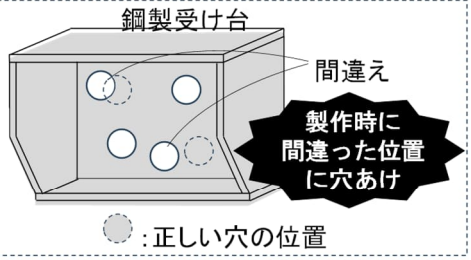
① 鋼製受け台の穴あけ施工図の作成

・現地調査により、穴あけ位置を図化
・図化する際に記載ミス発生



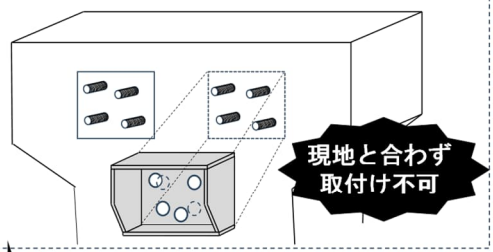
② 鋼製受け台製作（工場）

・アンカーボルトにあわせた穴あけ
・記録ミス等で間違った位置に穴あけ



③ 製作した受け台の不具合を把握

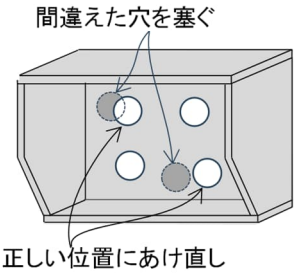
・鋼製受け台を現地で設置できない
→請負業者は穴のあけ間違いを初めて認識



④ 鋼製受け台の修繕（県監督員に無断）

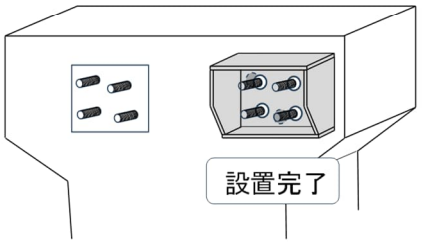
穴の位置が合わない箇所を溶接や樹脂等で塞ぎ、再度穴を開け直す

→ **強度不足**



⑤ 鋼製受け台取付（設置後も県に未報告）

・穴をあけ直した鋼製受け台を設置



※　鋼製受け台：橋桁の落下や路面に大きな段差を生じさせないようにする装置の一部で、橋桁や橋脚等に設置する鋼製の部材

【点検・調査で確認された埋戻した跡の状況】



①金属による埋戻し(汐見橋)
(表面に傷のような跡あり)



②樹脂等（金属以外）による埋戻し
(宇佐崎陸橋１)